

つながろう

OKITAMA

機関紙



連合置賜

2017年3月7日

2017春闘特別号

連合山形置賜地域協議会

発行責任者: 深瀬裕介
〒992-0042

米沢市塩井町塩野 1-1
米沢地区勤労者福祉会館内

2017春季生活闘争開始!!

「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノコアゲを実現しよう!



長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を!

【格差是正と底上げと共に
長時間労働是正の取り組みを】

連合山形置賜地域協議会

議長 深瀬裕介



日頃より連合置賜地域協議会への取り組みに各構成組合員の皆様よりご理解とご協力いただいております事に心より感謝申し上げます。

今年も「春闘地域フォーラム」を2月の金曜日開催し、春闘を取巻く情勢や連合方針を確認しながら貴重な意見交換をさせていただきありがとうございます。引き続きのご支援よろしくお願い致します。

現在、日本経済はデフレからの脱却ができず、大都市と地方や大企業と中小企業の格差は拡大する一方であります。政府・与党は様々な政策を進めていますが、行き詰まりの原因は個人消費が拡大しないことであり、拡大させるためには月例賃金の引き上げが重要であります。

そのために2017春闘は労働組合のもつ社会的責任を果たすため、賃金の引き上げにこだわり格差是正と底上げに取り組むと共に社会問題となっている長時間労働の是正についても取り組んでいかななくてはなりません。

これから各組織での取り組みが本格化して参りますが、今次春闘を最後まで粘り強く闘い抜き要求を勝ち取るべく共に頑張りましょう。

2017 連合置賜春闘地域フォーラムを各地区で開催しました

春闘における連合方針と取り巻く情勢の学習、そして中小労組からの参加者との意見・情報交換を行う場として昨年度から実施しております「連合置賜春闘地域フォーラム」を、今年度も2月毎週金曜日に4地区へ深瀬議長と佐藤事務局長が出向き開催しました。

2月3日（金）には小国地区、同月10日（金）に米沢地区、同月17日（金）に東置賜地区、そして同月24日（金）に西置賜地区でそれぞれ開催し、延べ15組合37名の参加をいただきました。



【2月3日（金）開催 小国地区】



【2月10日（金）開催 米沢地区】



【2月17日（金）開催 東置賜地区】



【2月24日（金）開催 西置賜地区】

今次春闘を取り巻く情勢については、現在国としても「働き方改革実現会議」で協議が成されている長時間労働の是正に関する質問や意見が相次ぎ、自組織として取り組むにあたっての課題や方策などについて、参加者同士での情報交換も積極的に行われました。

学習会終了後に引き続き行われた情報・意見交換懇親会では、参加者の皆さんとひざを交えて沢山のお話を頂戴し、昨年度同様、大変有意義な企画となり得る事が出来ました。

しかし、どうしてもこの時期は各加盟産別における春闘方針協議と重複する日程となった事から、昨年度の課題であった参加率の向上には思うように結びつく事が出来ませんでした。次年度以降も継続して本春闘地域フォーラムを開催して参りたいと考えておりますので、今回ご都合が合わなかった組織におかれましては、改めてご検討いただけます様、宜しくお願い申し上げます。

2017構成組織春闘情勢調査結果のご報告

2013年度より毎年ご協力いただいております置賜地協構成組織の春闘情勢調査につきまして、今年度も2017春季生活改善闘争を取り組むにあたり企業情勢や各種春闘方針についての回答をお寄せいただきましたので、以下にご報告申し上げます。

また、別掲にて2013年度からの各項目における推移も併せてご報告致します。

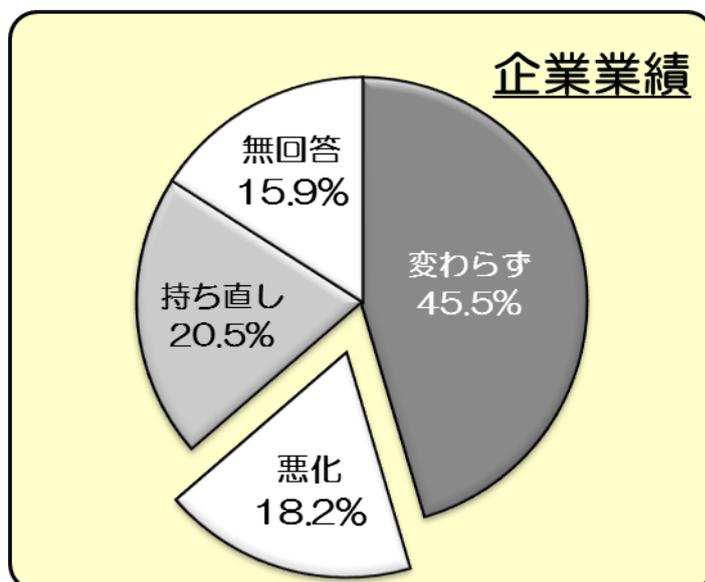
春闘取り組み準備の大変お忙しい中ご協力いただきました構成組織の皆さまに対しまして、改めて心から感謝申し上げます。

【参考値】	置賜地協構成組織数	回答数	回答率（昨年比）
	63組合	44組合	69.8%（1.2%減）

企業業績について

昨年同時期と比較した自組織の企業業績については、「変わらず」と答えた組合が約半数の45.5%（昨年比11.3%減）を占め、「持ち直した」と答えた組合も20.5%（昨年比6.9%増）となった。

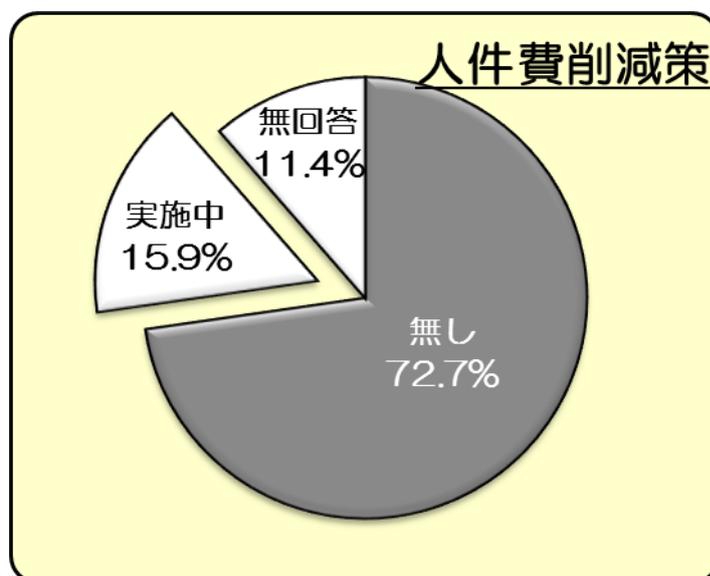
一方、「悪化した」と答えた組合が18.2%（昨年比2.3%増）となっており、昨年度と同様、置賜地域において業績の改善または現状維持が図られている企業と、逆に悪化している企業にそれぞれ分かれ地域間格差が生じている。



人件費削減策について

企業業績の悪化に対する会社施策として、賃金カットや新規採用の抑制、営業拠点の再編等における人件費削減策の実施有無については、「無し」と答えた組合が72.7%（昨年比11.3%増）となった。

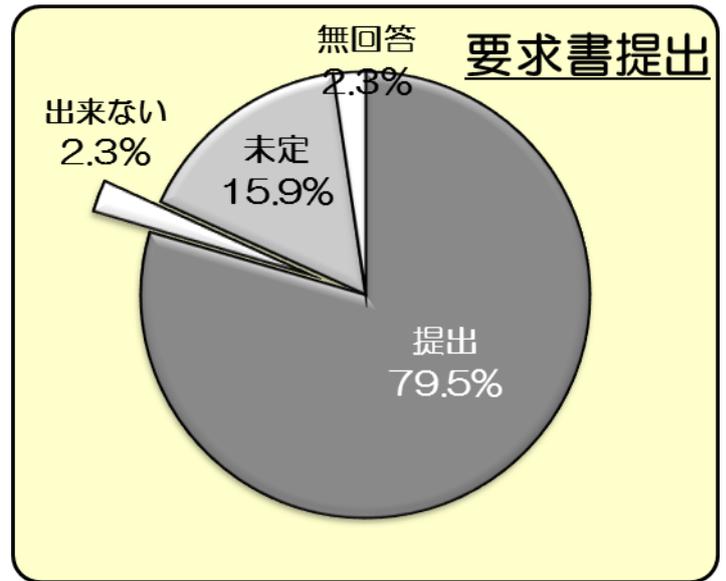
一方、何らかの施策を「実施中」と答えた組合が15.9%（昨年比9.1%増）にのぼっており、昨年度の調査結果にあった、今後「協議予定」と答えた組合の半数（昨年度18.2%）が何らかの人件費削減策を受け入れざるを得ない状況下にある事が伺えた。



要求書の提出について

2017春季生活闘争を取り組むにあたり、「要求書を提出する」と答えた組合は、全体の8割にのぼる79.5%（昨年比11.4%増）となった。

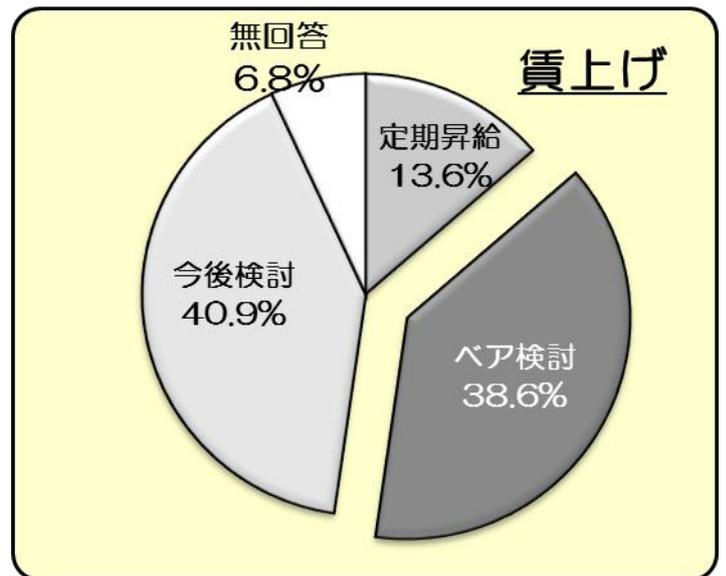
但し、昨年度は「提出出来ない」と答えた組合がゼロだったものの、今年度は2.3%の組合が要求書を提出出来ない状況下であり、併せて「未定」となっている組合が15.9%（昨年比13.6%増）にのぼっており、要求書提出の重要性は認めつつも、交渉要求が極めて厳しい組合、もしくは2月の時点でその判断が困難である組合が増加傾向にある事が伺えた。



賃上げの取り組みについて

最後に、ベースアップ等の賃金引上げの取り組みについては、「ベア検討」が38.6%（昨年比2.2.%増）となり、昨年に引き続き底上げ・底支え、格差是正に向けた要求方針が進められる姿勢と見受けられた。

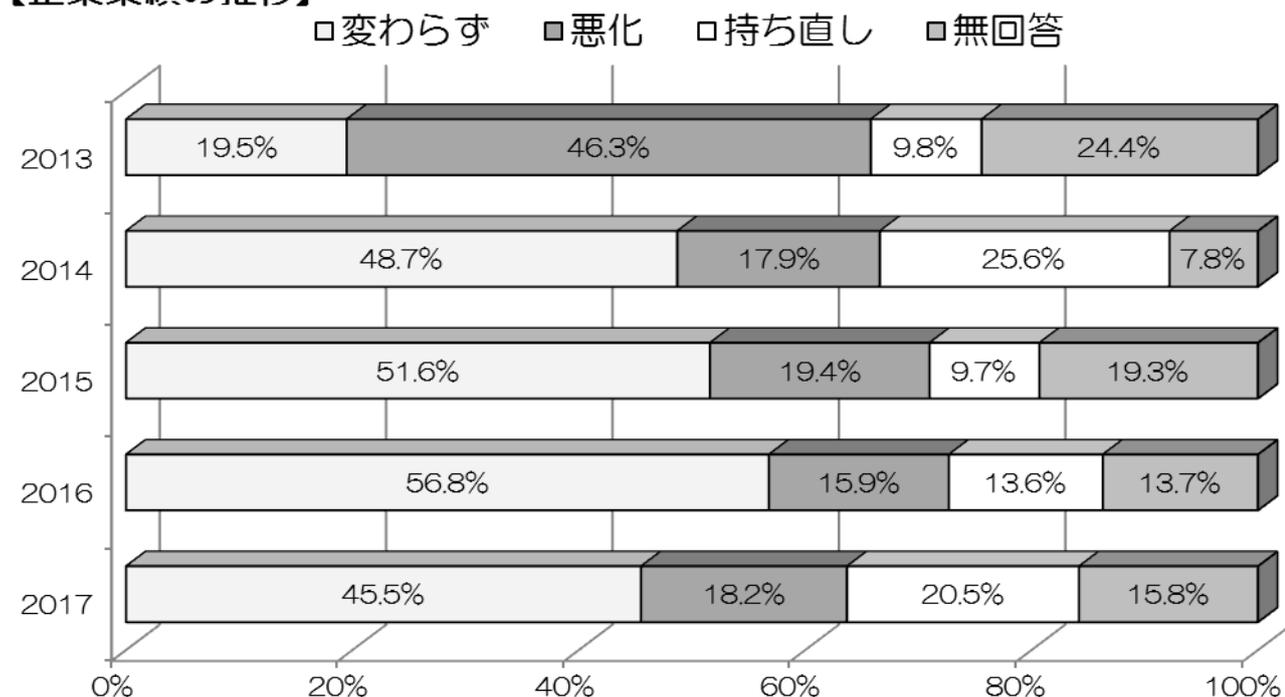
但し、「定期昇給（賃金構造の維持）」と答えた組合が13.6%（昨年比9.1%減）となっているものの、「今後検討」と答えた組合が40.9%（昨年比20.4%増）と倍増しており、今次春闘におけるベースアップの要求については、大手労組などの動向を見据えた上での判断を強いられている傾向が伺えた。



【補足説明】

本組織情勢調査は、1月10日付けにて各地区における春闘地域フォーラム開催案内と併せ各組合へ送付し、1月11日以降2月16日にかけて寄せられた回答を基に集計した結果を記載しております。従って、当該期間中、自組織はもとより加盟産別としての要求方針も確定していない中ご回答いただいた内容も含まれている事から、調査結果に対する見解はあくまでも参考程度に留めていただければ幸いです。また、それぞれの項目で「無回答」となっているそのほとんどは、春闘において交渉とせず秋闘が主である産別からの回答も含まれている為ご留意いただきたい。こういった背景を踏まえつつも、今次春闘における他労組の動向を参考にさせていただきながら、格差是正と働くものの幸せ追求に向けた取り組みを今後進めていただければと思います。来年度以降も調査を継続して参りたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。（事務局）

【企業業績の推移】

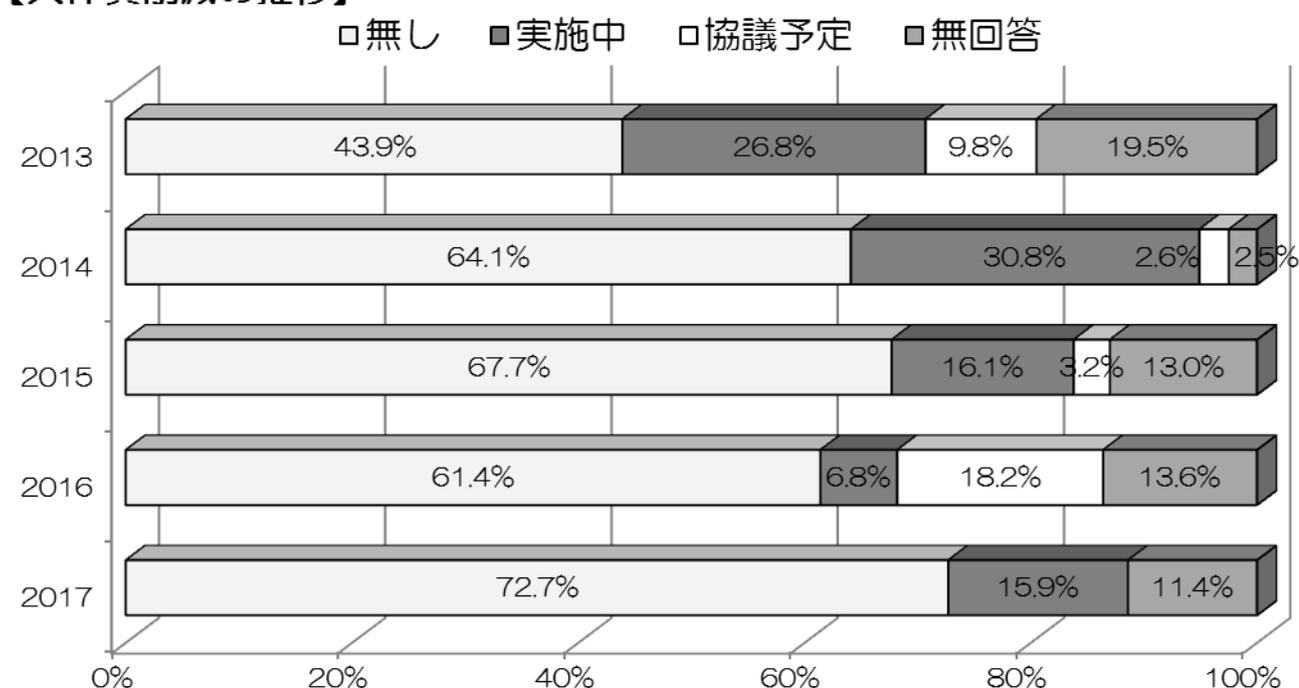


【過去5年間の「企業業績」に関する推移】

—業績改善の傾向はあるものの完全回復までは至らず—

- ・前年度と比較した企業業績としては、円安株高により大手企業の収益回復が出始めた2014年度以降、置賜地域の中小企業は改善の兆しを見せるものの、未だ2割程度の組合は改善が果たされないまま推移しており地域間での格差が生じています。

【人件費削減の推移】

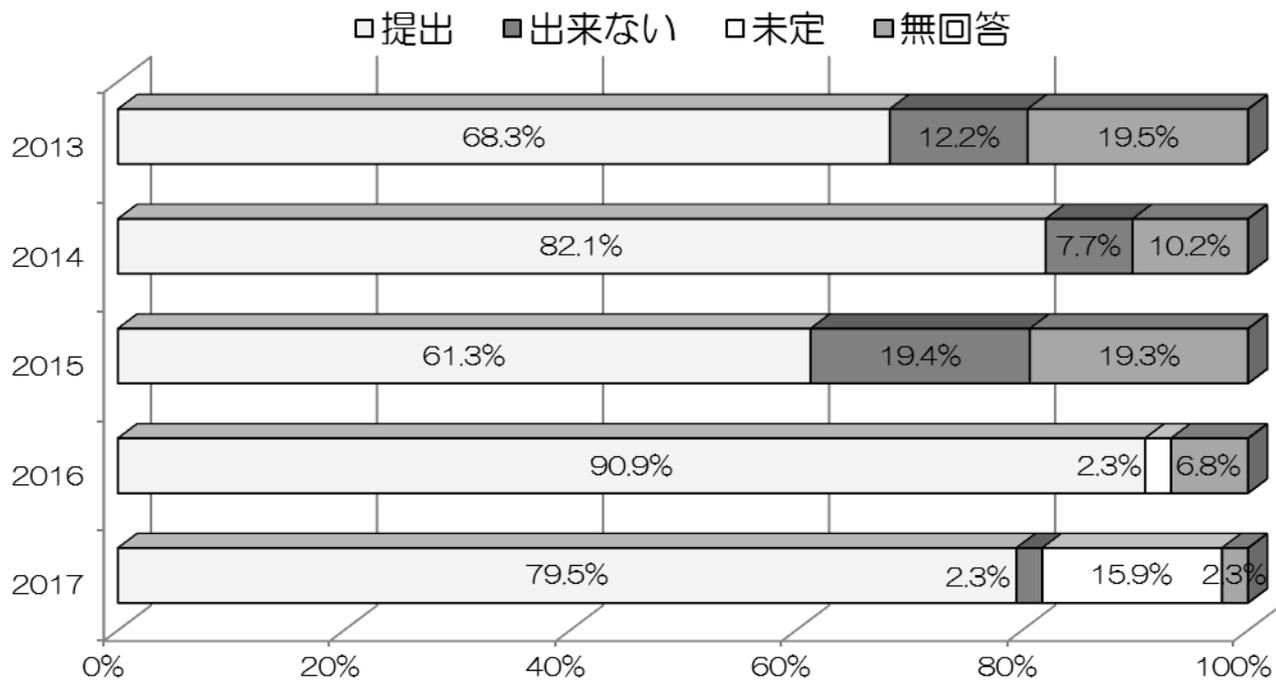


【過去5年間の「人件費削減」に関する推移】

—改善の兆しはあるものの働く環境は不安定なまま—

- ・業績悪化により、人件費削減等何らかの会社施策を受け入れざるを得ない状況の推移としては、徐々にその施策の解除もしくは見直しの傾向はあるものの、未だ賃金カットや新規採用の抑制、営業店舗再編等を実施中の組合も複数あり、働く環境が不安定なままとなっております。

【要求の推移】

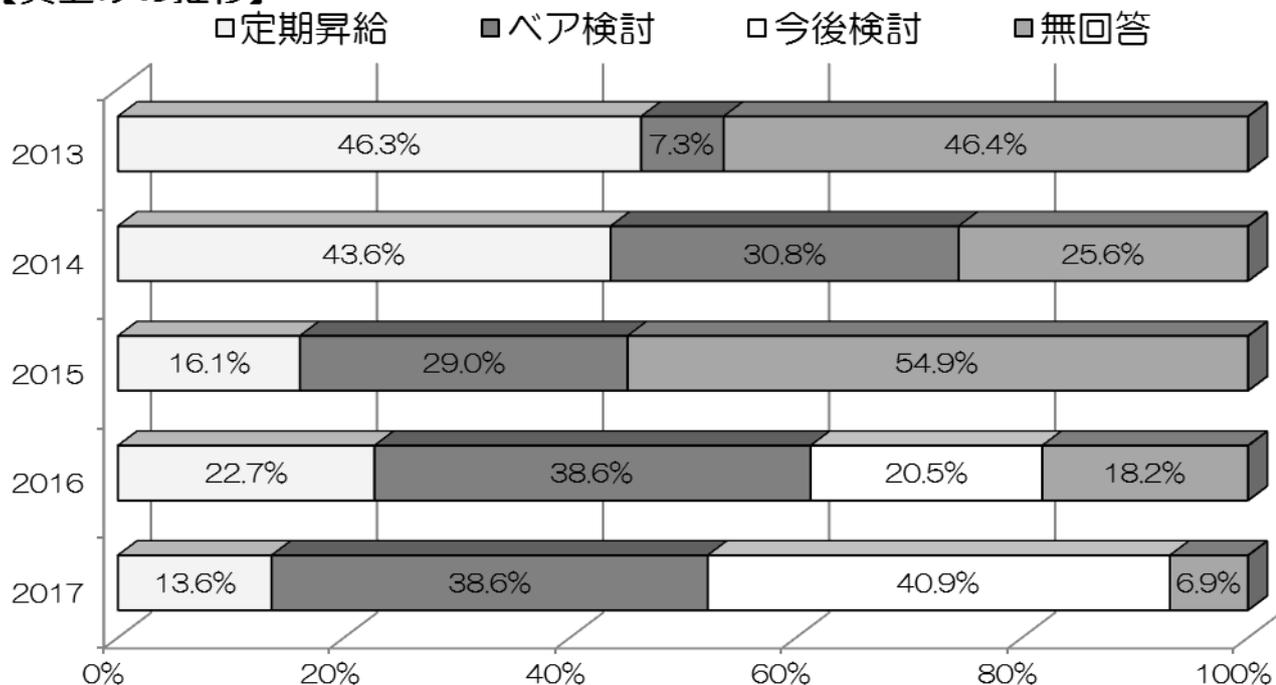


【過去5年間の「要求書提出」に関する推移】

ー要求書提出の重要性が増し改善傾向ー

- ・2015年度までは交渉の要求そのものを見送らざるを得ない組合が複数あったものの、賃金交渉以外の労働環境改善要求に対する重要性が増し、ほとんどの組合が要求書提出を実施しています。但し、一部には経営悪化により交渉出来る余地が無い組合も散見されます。

【賃上げの推移】



【過去5年間の「賃金の引き上げ」に関する推移】

ーベア要求は底堅く推移も先行きの不確実性が影響中ー

- ・ベースアップ等賃金の引き上げについては、増え続ける社会保障費への対処や大手との賃金格差を解消すべく賃上げ要求を検討する組合は底堅く推移しているものの、先行きの不確実性が増している海外経済や元請けへのコストダウン対応等、思うように要求として確立出来ない状況が続いています。

連合山形2017春季生活闘争勝利総決起集会に参加しました

去る3月4日（土）、連合山形主催による2017春闘勝利総決起集会が開催され、置賜地協としても深瀬議長と佐藤事務局長が参加し、併せて前段で開催された連合山形青年委員会・女性委員会主催の学習会へ、小国町職員労働組合と南陽市職員組合よりご協力いただき参加者を派遣しました。

総決起集会当日は生憎小雨交じりの天気となりましたが、第1部となるデモ行進では地協梯団において深瀬議長が置賜地協の旗を掲げ練り歩き、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、闘う意思統一と内外へのアピール行動を行いました。

デモ行進後に山形市民会館で行われた総決起集会では、連合本部より神津里季生会長もお見えになり、働き方改革実現会議に対する思いや今次春闘に対する連帯の挨拶と激励を受け、構成組織を代表し電機連合や基幹労連代表者より力強い決意表明が成されると共に、政策制度の実現に向けた次期衆議院議員選挙予定候補者として、県2区近藤洋介衆議院議員も駆け付け決意の一端を述べていただき、最後に参加者全員で春闘勝利と次期衆議院議員総選挙必勝を誓い団結ガンバローを行いました。



【深瀬議長連帯のデモ行進】



【総決起集会：岡田会長挨拶】



【総決起集会：連合神津会長連帯挨拶】



【総決起集会：電機連合井上議長決意表明】



【総決起集会：基幹労連臺丸谷委員長決意表明】



【総決起集会：青年・女性委員会企画】



【総決起集会：次期衆院選結束の握手】



【総決起集会：団結ガンパロー】

2017春闘勝利!!



次期衆院選必勝!!

【編集後記】

「底上げ・底支え・格差是正」を実現する為の2017春季生活闘争がいよいよ始まりました。既に大手中央労組は提出を終え交渉に挑んでおり、3月中旬には一斉に回答が示され山場を迎えます。

いっぽう、地方における中小労組としては要求内容を確立させ、拡がる大都市との格差や社会保障への負担増解消に向けた闘いがこれから本格化します。連合置賜地協としては、闘いの本格化を前に学習会と情報意見交換の場を設け要求書提出の重要性や取り巻く情勢分析を行い、構成組織の一助となる様取り組んで参りました。今後は、春闘における賃上げの重要性と取り組みへの理解を求め、社会全体の運動とすべく連合山形と共に街宣行動を通じて世論喚起を進めて参ります。

これと並行し、破たんしたアベノミクスに成り代わる経済政策を国政に求める運動も進めながら、すべての働く仲間の処遇改善に向け、真摯で活発な議論による春闘勝利を全構成組織で勝ち取っていきましょう。(事務局)